

# 2022年度 インターンシップ報告書



堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会

# 目 次

はじめに	2
<b>I 2022年度インターンシップの概要</b>	
(1) 協議会について	3
(2) 2022年度インターンシップ実施スケジュール	4
(3) インターンシップ推進状況	5
(表1) 2022年度インターンシップ受入企業一覧表	6
(表2) 2022年度インターンシップ学校別受入学生数	8
(4) 2022年度インターンシップ説明会&報告会及び産学交流会及び勉強会の実施	9
産学交流会及び勉強会アンケート	9
<b>II 2022年度 インターンシップ参加学生のアンケート結果</b>	14
<b>III 2022年度 インターンシップ参加企業のアンケート結果</b>	16
<b>IV 2022年度 インターンシップ参加大学のアンケート結果</b>	21
(参考) 2022年度受入企業 プログラム例	24

# はじめに

堺・南大阪インターンシップ推進協議会  
会長 隈元 英輔

社会や企業の将来を支える若年層の育成の観点から、インターンシップの重要性に鑑み、堺経営者協会、南大阪地域大学コンソーシアム、堺市が連携し、「堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会」を立ち上げて12年になりました。規約には「インターンシップの趣旨・目的をふまえて、堺・南大阪地域を中心とした企業・団体・自治体等の協力を得て、若者の人材育成に寄与することを目指す」と明記しました。また、お互いの連携を深め、それぞれの利点を生かし、事業の充実化が年々図れるようにすることを行動目標にしました。

本協議会として、2022年度を振り返ってみます。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、日々状況が変化していく中で、20の企業・団体のご協力により、学生が対面・リモートにて就労体験を終えることができました。例年より遅れて3月に「インターンシップ報告書」をホームページに掲載するとともに関係先に郵送。同月に「受入企業・団体の募集」を開始しました。4月に「大学と企業への説明会及び産学交流会」を、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、3年ぶりに対面で開催し、改めて対面の良さを実感することができたと参加者の方々からありがたい声をいただくことができました。6月に学生と企業の「マッチング」、8月～9月にかけて「インターンシップ研修」の実施。本年度は72名の応募者に対して49名が就労体験する予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大に伴い、48名の学生が貴重な就労体験を行うこととなりました。11月に「大学と企業・団体への報告会及び産学交流会」を開催し、報告会では、受入企業・団体、大学の方々に事例発表をしていただきました。また、産学交流会ではテーマを「こうしたらインターンシップ受入れを再開できる～現状と課題～」とし、送り出す大学、受入れる企業・団体から貴重な意見をたくさんいただきました。1年を通して「オンラインインタビュープログラム」を募集しましたが、マッチングに至らず実施することができませんでした。このプログラムに関して、アンケートから周知が十分ではないことを知ることができました。皆様が、興味をもっていたけるような周知のあり方を考え、より多くの企業・団体、学生をオンラインでも繋ぐことができればと考えています。

次年度も、プログラム作成の勉強会、企業・団体の魅力発信のデータ等の作成のご紹介など更に充実した研修会を実施し、より多くの学生に募集していただけるようなサポートができればと思っています。

これからも、企業・団体、学生にとってインターンシップの重要性に変わりないと考えています。

関係者の皆様には、尚一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

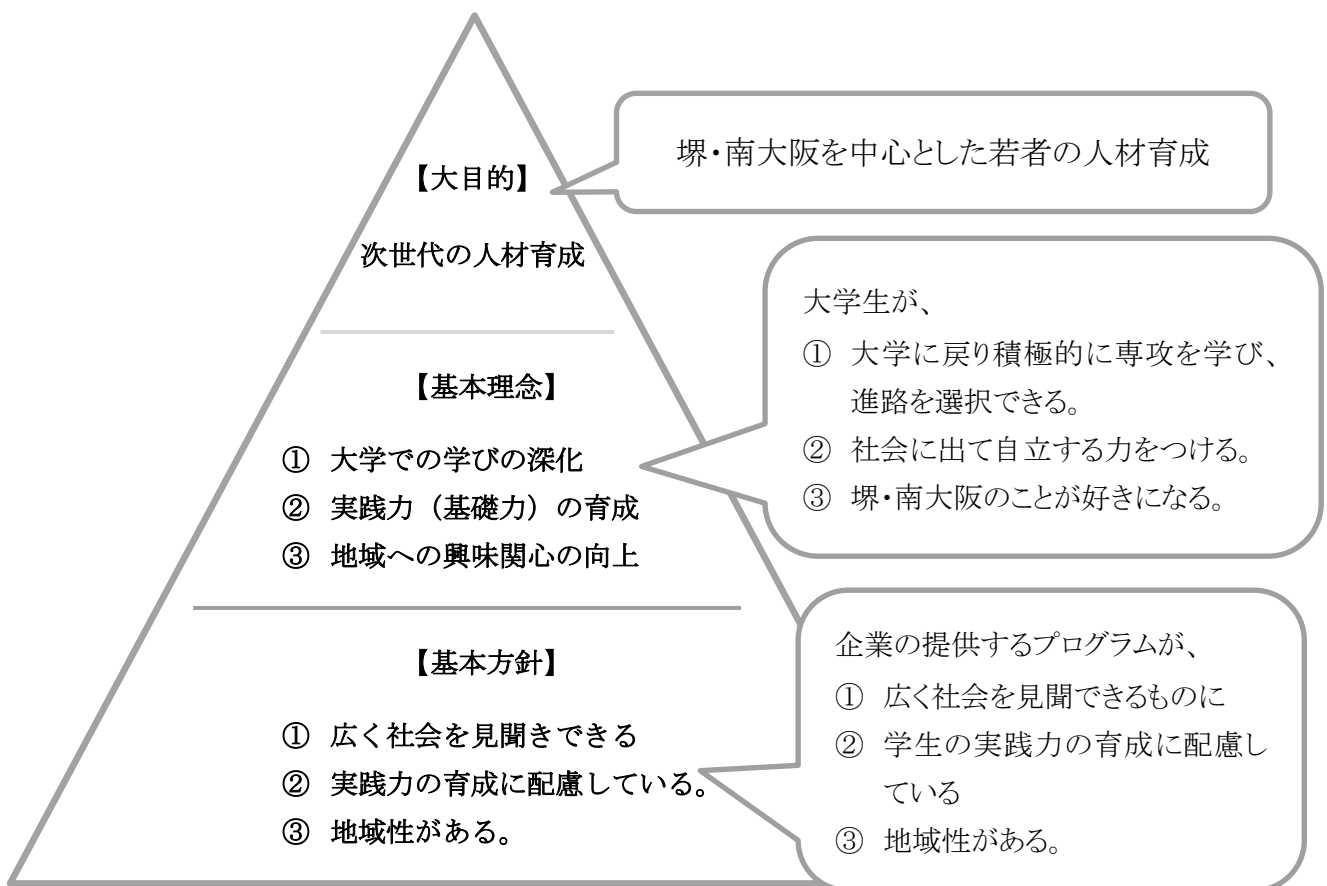
# I 2022年度 インターンシップの概要

## 協議会について

平成23年4月より、堺経営者協会、南大阪地域大学コンソーシアム、堺市は、「堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会」を設立し、それぞれの強みを生かすことによりインターンシップ事業の充実に努めてきました。

本年度は、連携して12年目、量の拡大から質を追求して5年目となりました。

1. 協議会名 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会
2. 活動目的等 インターンシップ事業の趣旨・目的を踏まえて、堺・南大阪地域を中心とした企業・団体・自治体等の協力を得て、若者の人材育成に寄与することを目的とする。



### 3. 実施主体

堺経営者協会

南大阪地域大学コンソーシアム

堺市

## (2) 2022インターンシップ実施スケジュール

堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会 主催

### 2022年度 インターンシップ スケジュール

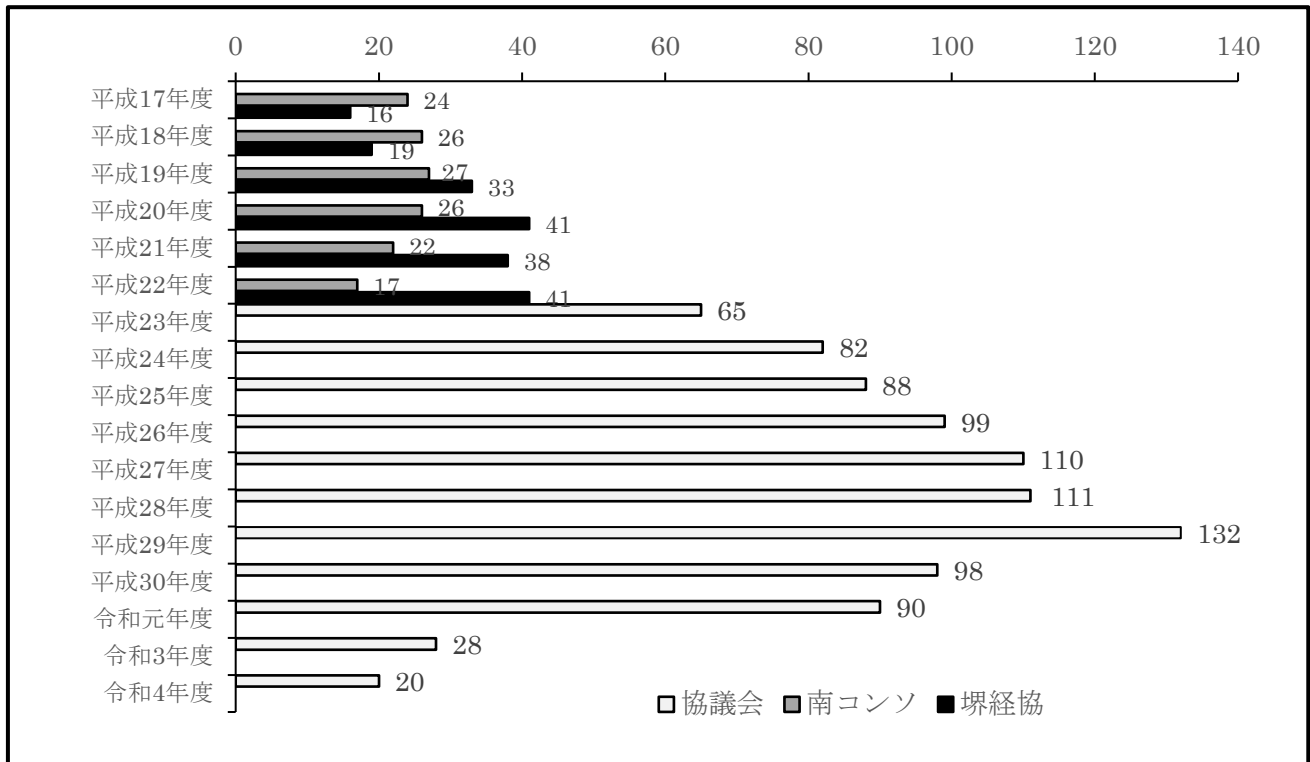
時期	企業	インターンシップ事務局	大学
2月			
3月	【様式A-1】参加申込書をダウンロードし、参加申込(新規)	【3月16日(火)】インターンシップ書類一式をホームページ上に掲載	【様式B-2】参加申込書及び【様式B-1】大学制度概要をダウンロードし、参加申込
4月		【申込期限4月1日(金)】インターンシップ参加申込受付	
インターンシップ説明会 4月15日(金)午後(会場:サンスクエア堺) ※後日、システムのID・パスワードをメールにて送信			
	書類一式をホームページからダウンロード		書類一式をホームページからダウンロード
	【様式A-2】募集要項提出(受入情報、プログラム概要等) 4月18日(月)までに事務局へ提出	【4月22日(木)】受入企業情報を大学に提供(ホームページ及びシステム上にアップ)	学生募集開始 受け入れ企業リスト学内掲示
5月		【5月9日(月)】学生募集開始(システム上) 【6月13日(月)】学生応募締切	学生エントリー 「大学は学生をとりまとめ」、システム内マイページから企業へエントリー <①【様式B-3】エントリーシート(市役所志望は【様式B-3-市】も合わせて)、及び【様式B-1】受入学生在籍大学の情報をアップロード、②応募学生一覧を画面入力>
6月	Webから【様式B-3】エントリーシート及び【様式B-1】受入学生在籍大学の情報をダウンロード 自社選考 書面審査面接等 選考結果をシステム内マイページの画面に入力	【6月14日(火)~6月23日(木)】 選考結果が決定した企業からシステム内で随時公開  ●【6月24日(金)~7月29日(金)】二次募集 ●二次募集の選考は、選考期間を設けず、応募に応じて企業が選考決定後システム内で随時公開	受入結果を受信 システム内マイページで受入結果を確認、ダウンロード ※採用結果が公開された旨、担当者へシステムからメールが自動送信(企業ごと)  学生に通知・意思確認
	6/9(火)~6/18(木):一次募集の選考期間 6/24(金)~7/29(金):二次募集の選考期間は設けず、募集期間内で随時決定し公開  ※選考結果はシステム内で結果入力したものを随時公開 ※二次募集期間中は、学生から応募があれば、担当者にシステムから応募通知メールが自動送信		
7月		【7月20日(火)】協議会ホームページ上でアンケート入力可能に	参加大学独自の事前研修等
	【様式B-4】誓約書受け取り・保管 学生と実施プログラム最終確認 ※実習受入にあたっては、【様式2】ガイドラインに従って実施		【様式B-4】誓約書作成・提出 学生本人が直接企業に持参 大学は最終実施プログラムを学生に確認 ※実習受入にあたっては、【様式2】ガイドラインに従って実施するよう学生にも注意喚起
8月	インターンシップ実施 【様式B-5】実習日誌、【様式B-6】実習評価報告書の記入 実習期間:7月~9月		学生の派遣 大学・企業間の連絡等 【様式B-5】実習日誌、【様式B-6】実習評価報告書を企業に依頼
9月			
10月	インターンシップ終了後に、協議会ホームページ上でアンケート入力	企業、大学、学生用アンケート結果を確認、整理	インターンシップ終了後に、学生、大学は協議会ホームページ上でアンケート入力
11月	(企業・大学対象)インターンシップ報告会及び産学交流会 11月24日(木)		
		報告書作成	

### (3) インターンシップ推進状況

本年度の新規受入企業は1社でした。受入にご協力いただいた企業・団体は20社です。インターンシップ参加学生数は49名でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実習者は48名となりました。

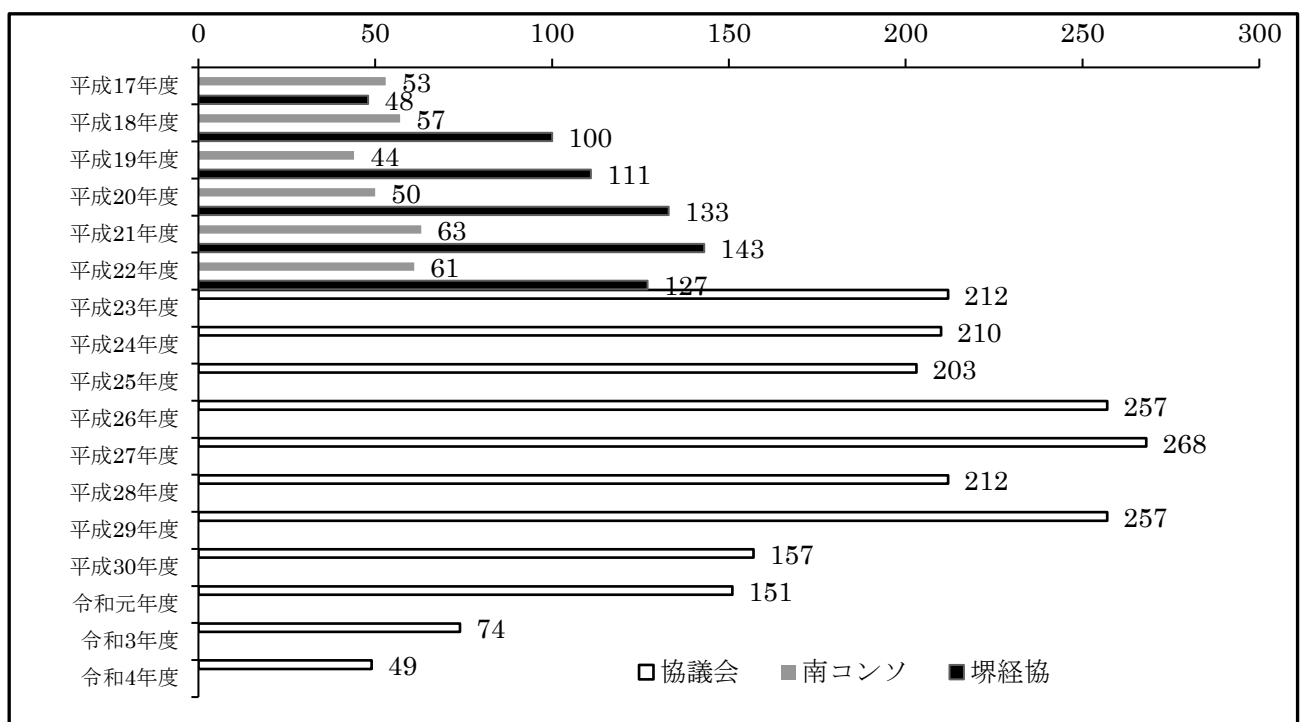
<インターンシップ受入事業所の推移>

【図1】



<インターンシップ参加学生数の推移>

【図2】



(表1)2022年度 インターンシップ受入企業(企業・NPO・自治体・保育園)一覧表

**【金融】1社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
1	(株)紀陽銀行	普通銀行業	4日間	15名	3	3
			計	15名	3名	3名

**【旅行・ホテル・観光】1社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
2	(公社)堺観光コンベンション協会	観光振興、(観光資源のPR)、 国内外における堺観光のポロモーション、 堺まつりの企画・運営、さかい利品の社の運営他	5日間	若干数	8	7
			計	2名	8名	7名

**【製造業】4社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
3	ケイ・エイチ工業(株)	機械器具設置業	5日間	2名	0	0
4	(株)箭木木工所	別注家具製造他	6日間	1~3名	0	0
5	(株)ニッカトー	工業用セラミック製造・販売	3日間	1~2名	1	1
6	太陽パーツ(株)	世の中のインフラを支える様々なパーツ(部 品)や設備の開発・製造	3日間	10名	0	0
			計	17名	1名	1名

**【製造業・理系】1社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
7	要薬品(株)(理系)	工業薬品製造販売	4日間	1名	0	0
			計	1名	0	0

**【卸・小売・物流業】4社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
8	(株)グルメ杵屋	飲食業	5日間	2名	2	2
9	(株)トレス	住宅設備機器の販売・施工	5日間	3名	1	1
10	日刊工業新聞社 西日本支社	産業史の制作・販売 イベント事業	5日間	1名	0	0
11	(株)浜田	機械・工具・産業機器・鋼材等の卸売業	5日間	1名	0	0
			計	7名	3名	3名

**【その他サービス業】3社**

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
12	藤井興発(株)	自動車教習所運営	3~5日間	2名	5	5
13	ビーイングホールディングス(株)	各イベント・催事どうの運営代行業務 大学生向けのフリーペーパー「BE/ST」発行 他	12日間 (希望により日追加が可能)	1~2名	3	3
14	堺商工会議所	地域総合経済団体	4日間	1名	1	1
			計	5名	9名	9名

### 【経営コンサルタント・税理士・社労士事務所】1社

	企業名	業種	日数	募集人数	決定者数	実習者数
15	日本フィナンシャルマネジメント(株)	経営コンサルタント業務、生命保険・損害保険業務、FP業務、不動産業務	5日間	4名	1	1
			計	4名	1名	1名

### 【福祉・介護・NPO法人等】2団体

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
16	NPO法人 NPOかんなびの丘	社会福祉(成年後見人受任他)	5~8日間	1名	0	0
17	社会福祉法人長野社会福祉財団	高齢者介護事業	5日間	5名	4	4
			計	6名	4名	4名

### 【行政・図書館】3団体

	企業名	業種	日数	募集者数	決定者数	実習者数
18	泉州地域各市役所	行政	5日間程度	17名	17	17
19	堺市立中央図書館	図書館	4日間	2名	2	2
20	泉佐野市立図書館	図書館	5日間	1名	1	1
			計	20名	20名	20名

業種	企業数	募集数	エントリー数	決定数	実習数
金融	1	15	8	3	3
旅行・ホテル・観光	1	2	8	8	7
製造業	4	17	1	1	1
製造業・理系	1	1	0	0	0
建設・運輸	0	0	0	0	0
卸・小売・物流業	4	7	3	3	3
その他サービス業	3	5	17	9	9
経営コンサルタント・税理士・社労士事務所	1	4	1	1	1
福祉・介護・NPO法人等	2	6	5	4	4
行政・図書館	3	20	29	20	20
保育園・こども園	0	0	0	0	0
合計	20 1次募集受入企業 20 2次募集受入企業 10	77	72	49	48
	受入企業数 13			マッチング率 68.1%	
	受入ゼロ企業数 7				



(表2) 2022年度インターンシップ学校別受入学生数

	大学名	2022年度		2021年度	
		応募者数	決定者数 (実習者数)	応募者数	決定者数 (実習者数)
1	追手門学院大学	0	0	0	0
2	大阪大谷大学	9	5 (5)	11	6 (4)
3	大阪教育大学			0	0
4	大阪経済大学	0	0	10	5 (3)
5	大阪芸術大学	0	0	0	0
6	大阪国際大学			0	0
7	大阪府立大学 (公立大学)			2	2 (2)
8	関西大学	0	0	3	3 (2)
9	関西学院大学	1	1 (1)	0	0
10	近畿大学生物理工学部	0	0	0	0
11	甲南大学	0	0	4	1 (0)
12	神戸国際大学	1	1 (1)	5	3 (0)
13	神戸松蔭女子学院大学	0	0	4	4 (2)
14	高野山大学	0	0	0	0
15	堺女子短期大学	1	1 (1)	0	0
16	四天王寺大学	5	4 (4)	8	5 (2)
17	清風情報工科学院	0	0	0	0
18	太成学院大学	0	0		
19	帝塚山学院大学	3	2 (2)	12	7 (2)
20	羽衣国際大学	0	0	1	1 (0)
21	阪南大学	23	15 (14)	27	16 (4)
22	桃山学院教育大学	0	0	0	0
23	桃山学院大学	14	9 (9)	28	15 (10)
24	和歌山大学	15	11 (11)	7	6 (3)
	計	72	49 (48)	122	74 (34)

#### (4) 2022年度インターンシップ説明会&報告会及び産学交流会及び勉強会の実施

### 2022年度インターンシップ説明会&産学交流会

◆日時：2022年4月15日（金）14:00～16:30

◆会場：サンスクエア堺A棟 第1会議室

◆参加者：(説明会)受入企業11名 大学職員15名 事務局 7名 合計33名  
(交流会)受入企業 9名 大学職員12名 事務局 8名 合計29名

#### <第一部 インターンシップ説明会>

開会の挨拶及び2022年度事業説明

- ・2022年度インターンシップについて（変更点、注意点）
- ・しごとインタビューについて
- ・今年度の受入企業・新規受入企業の紹介

#### <第二部 産学交流会>

テーマ「学生に企業の魅力を伝えるための工夫」

- (1) 安心安全なインターンシップのための環境づくり
- (2) 動画を使った企業紹介

➤班別意見交流

- ① 自己紹介
- ② テーマによる交流・ディスカッション
- ③ グループ代表による発表

閉会挨拶

#### <産学交流会 ～テーマによる班別意見交換～>

##### ◇ 交流会の進め方

1. 4班に分かれて、意見交流 テーマ「学生に企業の魅力を伝えるための工夫」  
(1)安心安全なインターンシップのための環境づくり(2)動画を使った企業紹介  
「自己紹介」「役割を決める」「テーマによる交流・ディスカッション」  
「出た意見をワークシートに記入」
2. まとめとして、班毎に、それぞれ3分程度で発表

#### 《インターンシップ説明会&産学交流会事後アンケート》

(回答数 21名)

##### ■所属

企業	8
大学	13
その他	0

#### Q1. 産学交流会はいかがでしたか。

大変有意義だった	16
有意義だった	5
それほど有意義ではなかった	0

## Q1-2. Q1 の理由

- ・大学の方の意見や企業の話がきけた。
- ・少し難しいテーマだった。
- ・大学関係者や行政、企業従事者の意見を聞くことができた。
- ・初めての参加だったが、色々な意見を聞くことができた。
- ・企業の様子も分かり、他大学の取組みも分かったので、本校としても取り入れて、学生の就活に活かしていきたい。
- ・大学、企業のインターンシップへの課題等を共有できた。
- ・大学同士の意見、企業側の意見の両方の意見を聞くことができて良かったです。
- ・久々の対面で良かったです。
- ・大学側の意見を聞くことができた。
- ・学生側(大学)からの意見や他の企業・団体の考えを、リアルで聞くことができ、参考になった。
- ・企業様のご意見や他大学様の取組みについて、お話を聞かせて頂けたので、大変有意義な時間となりました。
- ・他大学様、企業様の生の声を聞いた。
- ・様々な意見をいただき、ディスカッションを通じて、とても学びが多かった。
- ・大学側、企業側、それぞれの意見にふれることができた。
- ・テーマをもう少し、しぼった交流会をしてほしい。テーマは1つで。
- ・動画作成によっておこる学生への興味の向け方や、企業様・大学様の現状を知る場をいただけて、多くの知識や学びがありました。
- ・企業様と同じテーマでゆっくり話合う機会があり、初めて参加させていただいたのですが、大変参考になりました。
- ・企業・団体の方々が、インターンシップに対して、学生に対して、何を求めているのかがわかり、今後、学生を送り出す際に役立てたい。

## Q2. 今後もこのような機会をご希望されますか。

希望する	14
あれば参加する	7
希望しない	0

## Q2-1. Q2 の理由

- ・大学、及び学生の就職傾向を知りたい。
- ・勉強になります。
- ・他の企業さんがどのようにインターンシップを進めているか聞けるから。
- ・企業側の様子も分かり、他大学の取組みもわかる。
- ・各大学や企業側の取組み等を情報交換できる。

- ・意見交換できる貴重な機会だから。
- ・インターンシップを実施した後、次回のインターンシップに向けての勉強の場にした。
- ・様々な立場の方々の意見を聞くことができ、関係づくりにもつながる。
- ・インターンシップの担当者が今年度からのため、他大学様や企業様のお話を参考にさせていただきたいです。
- ・産学交流として、視点の違う人々と「学生のため」に出来ることを深めたい。
- ・色々な事例、意見にふれる機会は貴重だと思います。
- ・多くの企業様・大学様との関わり、ご意見をいただける機会ですので、是非お願いいたします。
- ・なかなか他の大学様や、企業様の一同に会する機会はないので、このような説明会と一緒にしていただくと有難いです。
- ・長期のインターン先が減っている今、学生を求めている企業を知ることがありがたい。

**Q3. 次回産学交流会において、何か情報交換したいテーマがあれば教えてください。**

- ・インターンシップ時の安全対策について、特にコロナ感染症にどう対応するか。
- ・インターンシップを採用直結ととらえるかどうか。
- ・他企業や団体における事例の共有。
- ・コロナ禍後の動き。
- ・10年後のインターンシップについて。
- ・学生の働くことに関する意識向上に向けた「しかけ」
- ・どういった現状なのか、どういった内容のインターンシップが好評なのか知りたい。
- ・インターンシップは、長期とする企業が減っているのか。

**Q4. インターンシップ事業全体についてご意見があれば教えてください。**

- ・大学と企業との連携がまだ十分ではないような気がします。両者の関係を強化できるような対策を期待します。
- ・種別での何かあればありがたい。製造とかモノ造りに興味がある学生など
- ・企業様もそうだが、多職種・多業種が一つの利点になると思うので、よろしく願いいたします。
- ・多くの業界から多くの企業に参加いただく、多くの大学で多くの学生が参加できるように、機会をいただければ幸いです。
- ・今回のテーマになった、安全・安心は、今後最もたいせつになってくると思います。
- ・素敵な機会をありがとうございました。
- ・せっかくの機会ですので、もっと多くの企業・団体、大学が参加できるようにしていただければと思います。
- ・手配をより簡略化していただけると助かります。

## 2022年度インターンシップ報告会&産学交流会

- ◆ 日時 : 2022年11月24日(木) 13:30~16:30
- ◆ 会場 : サンスクエア堺A棟 第1会議室
- ◆ 参加者 : (報告会) 受入企業12名 大学職員8名 事務局6名 合計26名  
(交流会) 受入企業8名 大学職員7名 事務局7名 合計22名

- < 第一部 インターンシップ報告会 >
- 開会挨拶及び2022年度事業報告
  - インターンシップ実施状況と次年度の展望
  - 参加企業のインターンシップの取り組みについて  
公益社団法人堺観光コンベンション協会 河合 高英 氏
  - 参加大学のインターンシップの取り組みについて  
桃山学院大学 キャリアセンター 大野 智嗣 氏
- < 第二部 産学交流会 >
- テーマ「こうしたらインターンシップ受入れを再開できる～現状と課題～」
- 班別意見交換
    - ① 自己紹介
    - ② テーマによる交流・ディスカッション
    - ③ グループ代表による発表
  - 閉会挨拶

### <産学交流会 ～テーマによる意見交換～>

#### ◇ 交流会の進め方

##### 1. 4班に分かれて、意見交流

テーマ「こうしたらインターンシップ受入れを再開できる～現状と課題～」

※「自己紹介」「テーマによる交流・ディスカッション」

##### 2. まとめとして、班毎に、それぞれ5分程度で発表

### 《インターンシップ報告会&産学交流会事後アンケート》

(回答数 14名)

#### ■所属

企業	7
大学	7
その他	2

#### Q1. 産学交流会はいかがでしたか。

大変有意義だった	7
有意義だった	7
それほど有意義ではなかった	0

#### Q1-2. Q1の理由をお聞かせください。

- ・企業側のご意見、同じ大学側でも他大学の取り組み内容も聞くことができたため。
- ・企業側、大学側のリアルな声を聞くことができた。
- ・大学側の要望もよく理解できた。次回以降のインターンシップ受入れに活かしていきたい。
- ・年々、実習先が減っている要因がつかめた気がした。(企業と大学の目的のミスマッチ等)
- ・プレゼン資料の情報が多すぎて消化しきれなかった。
- ・インターンシップのあり方を再検討するため。

- ・これまでこのような機会が、大学側また他企業の意見も聞けることがなかったため有意義だった。
- ・企業様のご意見や困難と考えられることがわかった。他大学の取組も知ることができた。
- ・大学側より、学生の就職に対する生の意見が聞けた。
- ・意見交換ができ、参考になりました。

**Q2. 今後もこのような機会をご希望されますか。**

希望する	9
あれば参加する	4
希望しない	0

**Q2-1. Q2 の理由をお聞かせください。**

- ・社外の意見を取り入れることで、社内が活性化すると思うからです。
- ・大学にもちかえり共有できるから。
- ・インターンシップの運用についてぜひ参考にさせていただきたいため。
- ・対面で行うことで、コミュニケーションが取れ、互いに理解できると考えます。
- ・次回のインターンシップの参考になる。
- ・最新のインターンシップの実情をつかむため。
- ・情報交換・情報共有ができるから。

**Q3. 次回産学交流会において、何か情報交換したいテーマがあれば教えてください。**

- ・インターンシップから採用につながる必勝法
- ・堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会に限らず、なぜ5日未満のインターンが増加しているのか。
- ・三省合意の対応について。

**Q4. インターンシップ事業全体についてのご意見**

- ・互いの立場を理解し、コミュニケーションを良く取り、互いにとってウィンウィンとなるようにしたい。
- ・制度の存在自体を知らない企業が多いと思います。より多くの企業が知れば、自然に参加企業が増えると思います。
- ・学生と企業のマッチング手順について、現在「企業⇄事務局⇄大学⇄学生」としているが、トラブル対応を除き「企業⇄事務局⇄学生」に簡略できないか。
- ・受入企業種が増加することを望みます。

**Q5. 文部科学省・厚生労働省・経済産業省による3省合意の一部改正について**

知らない	6
知っているが何もしていない	3
対応を検討している	5
対応を決定した	0

## Ⅱ 2022年度 インターンシップ参加学生のアンケート結果

(回答 10名)

### <学生について>

#### ◆所属学部分類

1. 理系	1
2. 文系	8
3. その他	1

【その他】 メイク関連

#### ◆住居

大阪府堺市	5
大阪府内(堺市外)	4
その他	1

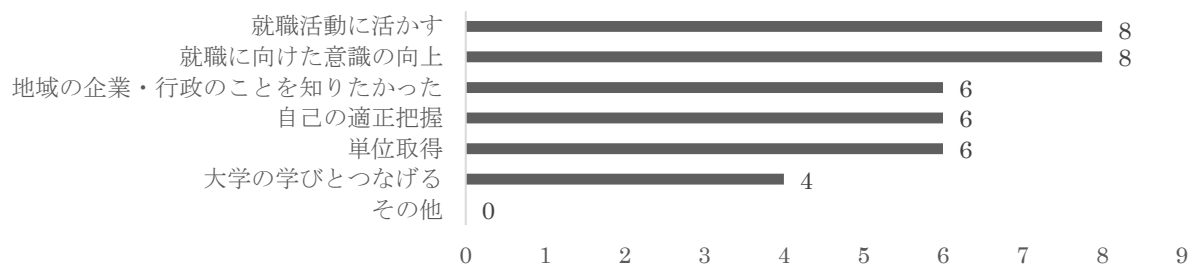
【その他】 和歌山県

#### Q1 インターンシップの受入れ状態

1. 対面	8
2. オンライン	1
3. 対面とオンライン	1

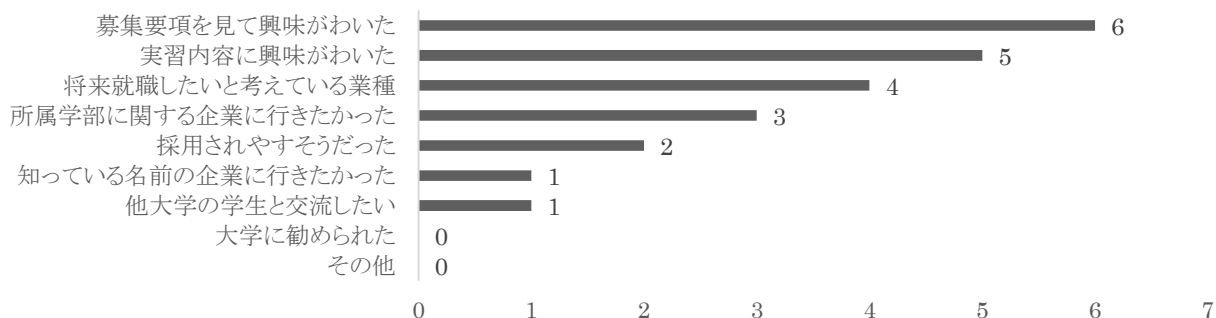
#### Q2 インターンシップの志望動機

(複数回答)



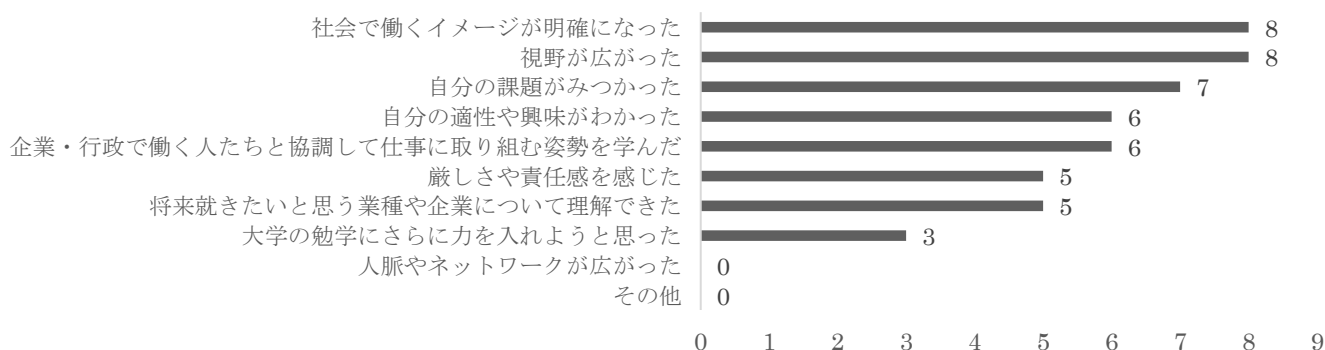
#### Q3 インターンシップ先の企業を選んだ理由

(複数回答)



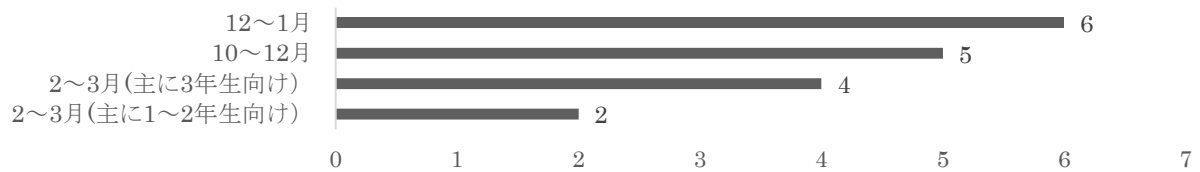
#### Q4 インターンシップに参加して感じたこと

(複数回答)



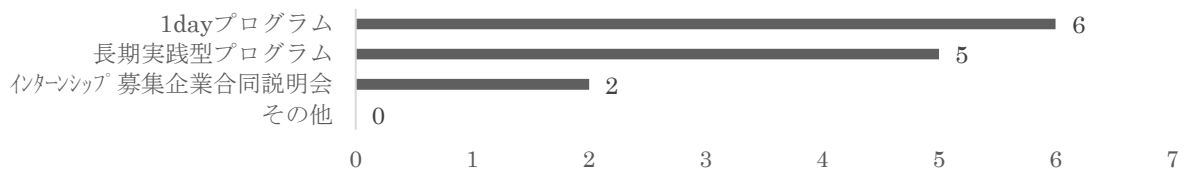
Q 5 募集時期について、夏季以外に参加可能な時期は

(複数回答可)

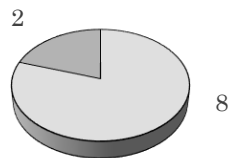


Q 6 インターンシップの質の向上に向けた新たな取り組みとして実施を希望するもの

(複数回答)



Q 7 インターンシップに参加してみて



□ 満足している	8
■ どちらかといえば満足	2
■ どちらかといえば満足していない	0
■ 満足していない	0

Q 8 ハラスメント事案など、困ったことは？

- ・「なかったです。」 と全ての学生が答えてくれました。

Q 9 本年度のインターンシップ全体についての感想や要望

- ・対面でのインターンシップが少ない中、貴重な体験をさせていただきました。
- ・普段できない貴重な体験ができ、本当に為になりました。
- ・自分の弱み・強みをみつけ今後にかそうと思いました。
- ・事務作業についてよく学ぶことができました。とても勉強になりました。
- ・次世代の育成に力を入れられているように感じました。5日間とても熱心に指導していただき、社会に出ることへの意欲がより高まったように思います。今後もインターンシップ事業はぜひ続けて頂きたいです。
- ・非常に良い体験ができたと思っております。



### Ⅲ 2022年度 インターンシップ参加企業のアンケート結果

(回答数 14 社)※泉州 8 市役所の個別解答含む

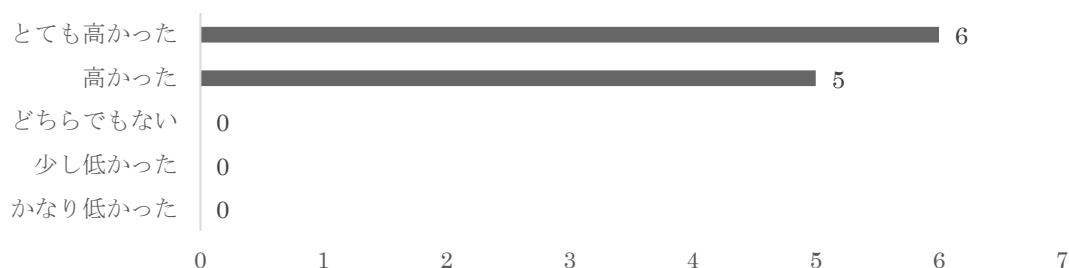
#### Q1 インターンシップ生の受入れ形態について

対面	13
リモート	0
対面とリモート	1

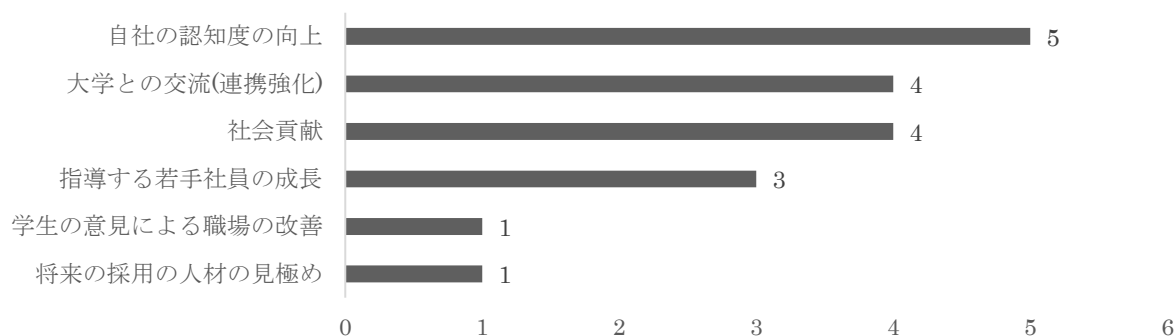
#### Q2 今年度、インターンシップ生の受入れについて

受け入れた	11
受け入れはなかった	3

#### Q3 インターンシップ生のモチベーションについて (「受け入れた」と回答した 11 社対象)



#### Q4 受け入れによって得られた効果について (複数回答)



#### Q5 企業・団体向け勉強会について、学生に自社をアピールするための勉強会に参加したいと思いますか？



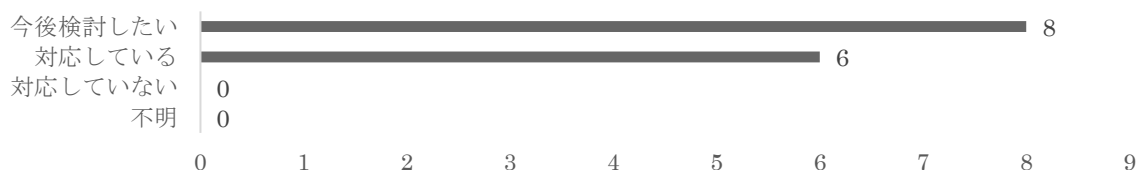
### Q 5-1 勉強会を開催する時期は？

- ・ 新型コロナ感染症が落ち着いたら
- ・ 秋ごろ
- ・ 12月頃
- ・ 年初
- ・ いつでもよい

### Q 5-2 勉強会で希望するテーマは？

- ・ 回答なし

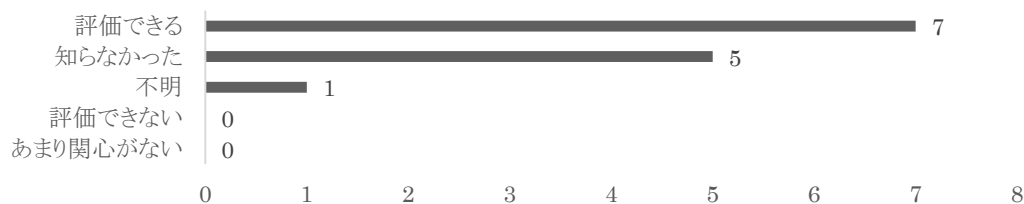
### Q 6 インターンシップ生受け入れ時の「ハラスメント」対応について



#### Q 6-1 行っている対応について

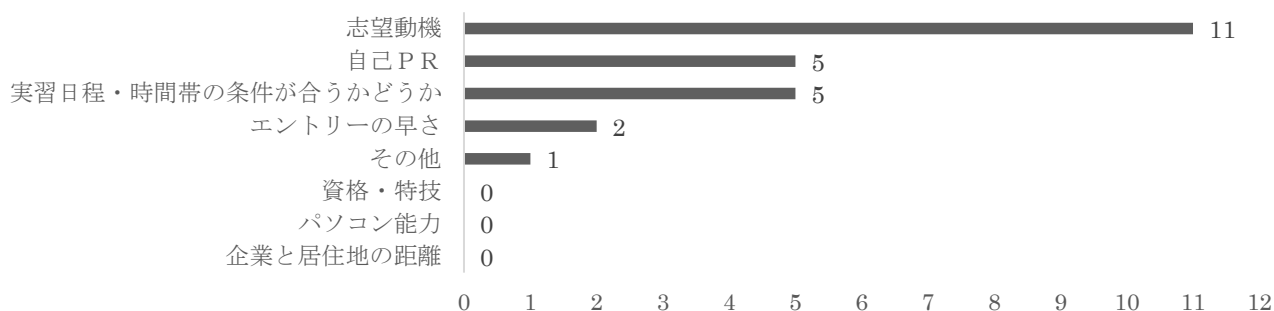
- ・ ハラスメント対応マニュアルに基づいて、職員へのハラスメントへの対応について周知徹底しているため、インターンシップ受入時も対応できている。
- ・ 策定している「職場におけるハラスメントに関する基本指針」で職員以外の方への言動もハラスメントの対象となることなどを示し、当該基本指針をもとに各所属内で年1回必ずハラスメント研修を実施している。
- ・ 受入部署・担当者への啓発
- ・ 時間を作って、会社訪問する学生に対してのリスpekt感を全体で共有している。
- ・ 担当者が堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会HP掲載のハラスメント対応のページを事前に読み、インターンシップ実施において注意する点を確認した。

#### Q 6-2 本協議会の「ハラスメント対応」について



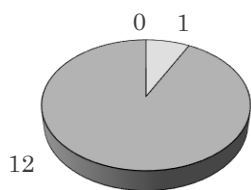
### Q 7 学生を選考するうえで重視したこと

(複数回答)



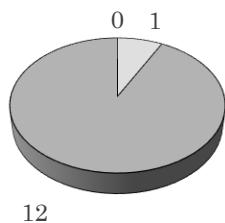
【その他】堺市により振り分けのため選考していない

Q 8 - (1) 一次募集締切の時期について



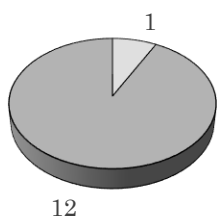
□もう少し早い方がいい	1
■適当である	12
■もう少し遅い方がいい	0

Q 8 - (2) 一次募集選考結果公開時期について



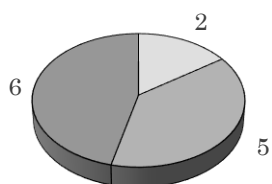
□もう少し早い方がいい	1
■適当である	12
■もう少し遅い方がいい	0

Q 8 - (3) 募集方法について



□募集時期・募集締切を各実習先で設定し、選考を行う方がよい	1
■今と同じ一斉募集がよい	12

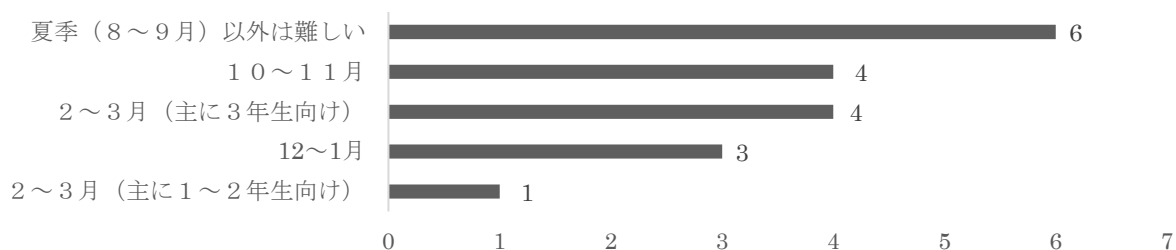
Q 8 - (4) インターンシップ募集企業による学生向けの合同説明会について



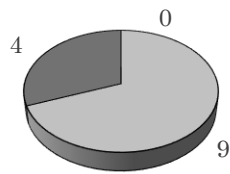
□実施を希望する	2
■どちらでもいい	5
■必要ない	6

Q 8 - (5) 夏季以外に参加可能な時期はありますか？

(複数回答)

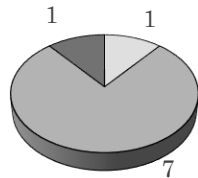


Q 8- (6) 1 day プログラムの実施について：通常のインターンシップとは別に、企業見学的な機会について



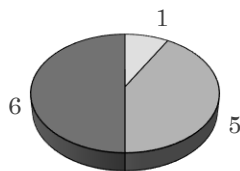
□実施を希望	0
▣どちらでもいい	9
■必要ない	4

対象学年の希望はありますか？



□1, 2年生向け	1
▣3年生向け	7
■その他	1

Q 8- (7) 長期実践型の実施について：半年かけて成果物を作り上げていくようなプロジェクト型等の実施について



□実施を希望する	1
▣どちらでもいい	5
■必要ない	6

Q 9 インターンシップを実施する際に、大学と協定書・覚書を取り交わしましたか？

取り交わした	6
要望があり取り交わした	0
取り交わさなかった	5

Q 9-1 協定書・覚書を交わした理由は？

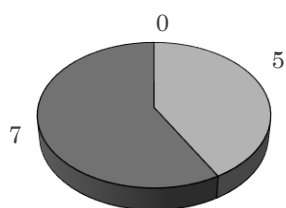
(「取り交わした」と回答した6社対象)

「インターンシップ参加に関する規約」に補足項目があった	1
例年取り交わしている	5
その他	0

Q 10 「しごとインタビュー」について、受入れを希望しますか？

希望する	1
希望しない	7
わからない	4

Q 1 1 本協議会のホームページに募集要項を掲載する際、自社のPR動画やインタビュー動画をけいさいしましたか？



□ 掲載した	0
▨ 掲載しなかった	5
■ 掲載できることを知らなかった	7

Q 1 1-1 掲載しなかった理由は？

【理由】

- ・動画が無い
- ・作成していないため

Q 1 2 本年度のインターンシップ全体について感想やご要望

- ・課題に一生懸命取り組む方に来ていただき、職員も刺激を受けたと思います。採用試験受験につながればと思っております。
- ・対面での実施だったため、色々と感染予防対策は必要だったが、改めて対面の良さを感じることができました。
- ・受入れ先の所属から、インターンシップ生のパソコンスキルレベルが事前に把握できる資料を提供してもらえの方が望ましいという意見・要望があった。
- ・2名の学生を受け入れましたが、両名共に主体的に実習に取り組んでおり、指導する側としてもやりがいを感じました。
- ・参加者のほとんどが公務員志望の学生であり、実際の市役所の現場を体験したことで将来の職業選択の参考になったのではないかと思います。また、自治体側にとっても、市の取り組みを知っていただくとともに、学生の意見や感想を聞ける貴重な機会となりました。今後も、双方にとって有意義なインターンシップになるよう努めてまいります。ありがとうございました。
- ・インターンシップを通じて、本市への入庁を希望する学生が実際の仕事を体験することで入庁後のギャップや採用のミスマッチを防ぐという観点からも学生向けのインターンシップの実施は意義があると感じます。本市においても、インターンシップを優秀な学生の採用に繋がられる機会と捉えておりますので、可能な限り高石市への就職を第一希望とする学生、また高石市に興味がある学生を優先的に受け入れることが理想であると考えます。インターンシップの申込み時点での学生に高石市が第一希望として応募していただけるよう、本市としても今後一層魅力の発信をしていけたらと思います。

## IV 2022年度 インターンシップ参加大学のアンケート結果

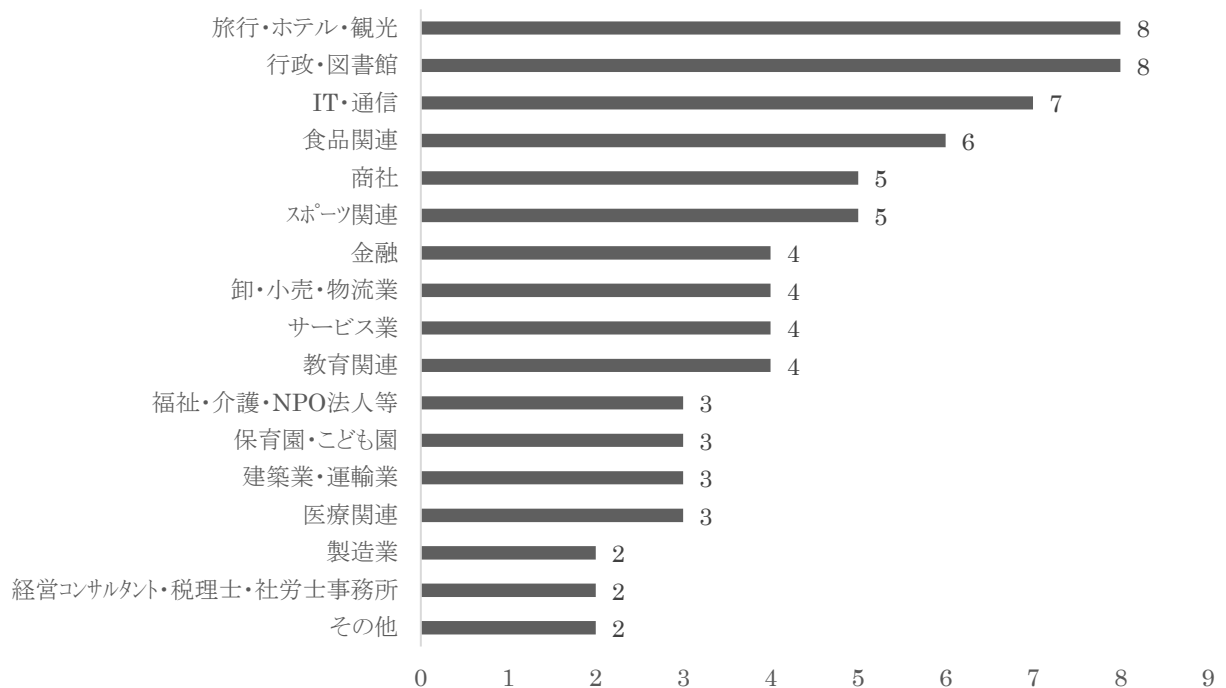
(回答数14校)

### Q1 募集時期について



### Q2 今後希望する業種について

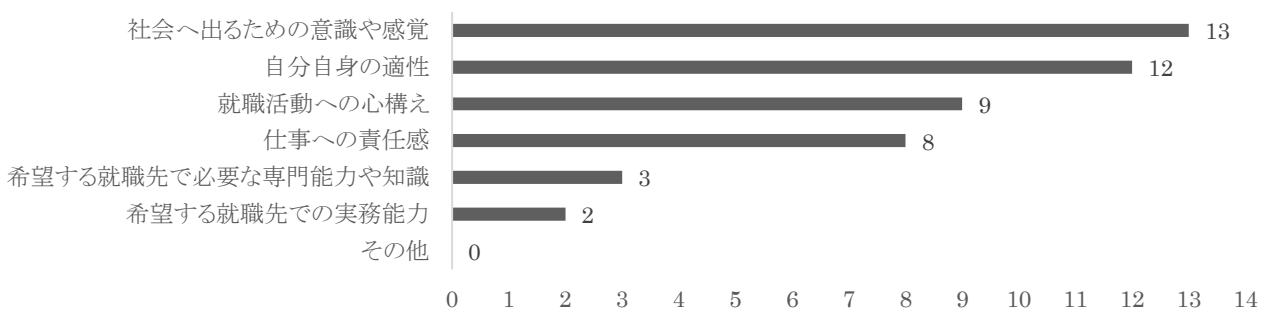
(複数回答可)



【その他】美容、化粧品販売関係 業種を問わず全体的に揃っているのが理想です

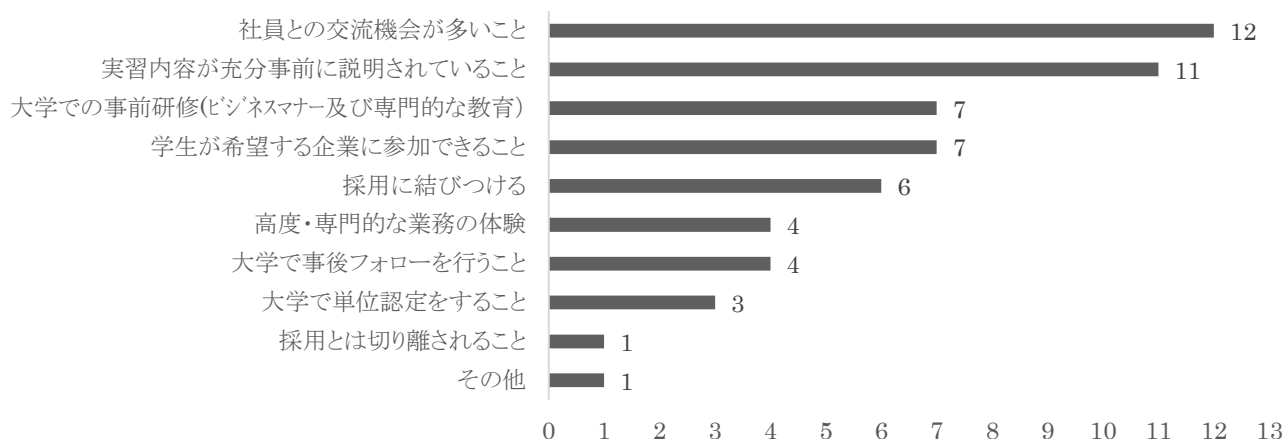
### Q3 インターンシップを通して学生に何を身につけてもらいたいですか

(複数回答可)



【その他】短期間でスキルや知識を身につけることは期待しないが、こういったスキルや知識が必要なのかを理解する、知る(仕事理解)ことは 期待したい

Q4 参加する学生にとってインターンシップをより効果的なものにするには何が必要だと思いますか？ (複数回答可)



【その他】実習先から学生に対するフィードバックが手厚いこと

Q5 インターンシップを実施する際に、実習先と協定書・覚書を取り交わしましたか？

取り交わした	3
要望があり取り交わした	1
取り交わさなかった	7

Q5-2 協定書・覚書を取り交わした理由は何ですか？ (「取り交わした」と回答した4校対象)

「インターンシップ参加に関する規約」に補足項目があった	1
例年取り交わしている	1
その他	2

【その他】

- ・受入企業様の要望に対応するため
- ・学生規定より必要なため

Q6 「しごとインタビュー」について、参加を希望しますか？

希望する	0
希望しない	5
わからない	7
興味がある	1

## Q7 本年度のインターンシップ全体についての感想やご要望

- ・大変良い機会を得たと学生からは聞いております。ありがとうございました。
- ・コロナ禍ではありますが、参加される企業様が増加すればありがたいと思います。
- ・ご協力いただき誠にありがとうございます。来年度のインターンシップにつきまして、改正された三省合意タイプ3に基づいたインターンシップを実施していただければ、大変ありがたく存じます。
- ・本年度は学生が1人もエントリーしない結果となりました。コロナが発生し、企業が中止するなど、参加したいが参加できなかった学生や、1年生でまだ外部のインターンシップ募集に応募する勇気がもてなかった学生が今回は多く、確実に大学の直接提携の企業に参加したいという傾向がございました。来年度は、今年とはまた違う考えが出てくるかと思しますので、引き続きよろしく願いいたします。
- ・堺の魅力の1つでもある刃物等の企業があれば、県外からきている学生は興味を示す可能性があるかもしれないです。
- ・今年度は本校から送り出した学生はいませんでした。今後は、本学の課題である低学次に対して積極的に周知したいと思います。
- ・参加した学生を評価していただきありがとうございました。次年度はより多くの企業様に参加いただきたいと思います。
- ・実習の申込み等は全て学生から直接受け付けるようにして欲しい。
- ・来年度は参加する可能性がありますが、以前にはマッチングがうまくいきませんでした。マッチングされるためのアドバイスなどいただければと思います。
- ・可能であれば学生への実習先決定連絡など御社で対応していただけると助かります。ご検討の程よろしく願いいたします。



# (参考) 2022年度受入企業研修プログラム例

## 事例①【旅行・ホテル・観光】

### インターンシップ募集要項

#### 【実習プログラム】

会社・団体名	
プログラム内容	<input type="checkbox"/> 固定 (受入側の事情で多少変更する可能性はあり) <input checked="" type="checkbox"/> 応相談

実習部門	日付	内 容	
		午 前	午 後
	1日目 8/23	オリエンテーション	各課題に向けた準備など
	2日目 8/24	観光施設での従事体験	観光地への訪問・研究など
	3日目 8/25	観光地への訪問・研究など	着地型ツアーモデルコースの作成など
	4日目 8/26	観光地への訪問・研究など	堺フィルムオフィスのSNS等の媒体を利用した観光地プロモーション活動や職員との意見交換など
	5日目 8/29	観光地への訪問・研究 (モデルコースの再作成など)	インターンシップまとめなど

その他 相談次第で出来ること等	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設、観光地なども含めて「お客様対応」が必要になりますので、コミュニケーション能力に自信がある、又は伸ばしたい方に向けたプログラムとする予定です。</li> <li>ご自身で観光 PR を事前に検討してください。(ゆるキャラの「ザビエコくん」の活用を含む)</li> <li>各施設での実習には、日程等の調整が必要な場合があります。</li> <li>新型コロナウイルスの感染状況により、内容の変更、中止の可能性がります。</li> </ul>
--------------------	---

## 事例②【製造業】

### インターンシップ募集要項

#### 【実習プログラム】

会社・団体名	
プログラム内容	<input checked="" type="checkbox"/> 固定 (受入側の事情で多少変更する可能性はあり) <input type="checkbox"/> 応相談

実習部門	日付	内 容	
		午 前	午 後
	1日目 8/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>総務部について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業部について</li> <li>生産管理部について</li> </ul>
	2日目 8/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発部について</li> <li>品質評価グループについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質保証部について</li> <li>生産技術グループについて</li> </ul>
	3日目 8/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産グループについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理部/情報システム室について</li> <li>実習報告書の作成、質疑応答など</li> </ul>

新型コロナウイルス 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>入門時に体温チェック</li> <li>オフィスや食堂にパーテーションを設置</li> <li>マスク着用とアルコール消毒の徹底</li> </ul>
-----------------	--

事例③【福祉・介護・NPO 法人】

インターンシップ募集要項

【実習プログラム】

会社・団体名	
プログラム内容	<input type="checkbox"/> 固定 (受入側の事情で多少変更する可能性はあり) <input checked="" type="checkbox"/> 応相談

実施日	項目	実習内容	備考(場所など)
1日目	オリエンテーション	事業の理解、目標設定	法人事務所
2日目	マーケティングリサーチ	必要な情報を収集する	法人事務所
3日目	マーケティングリサーチ	支援現場の見学	法人事務所、支援先
4日目	企画	目標を達成するための機関を立案する	法人事務所
5日目	作成	企画を形にしていく	法人事務所
6日目	作成	企画を形にしていく	法人事務所
7日目	実践	イベント会場において企画したPRを行う	イベント会場 (堺市内)
8日目	成果検証、まとめ報告	達成度合の検証、成果報告	法人事務所
9日目			
10日目			
11日目			
12日目			
13日目			
14日目			
15日目			
16日目			
17日目			
18日目			
19日目			
20日目			

その他 相談次第で出来ること等	機関紙の作成、ホームページの更新等イベント以外のPR活動
--------------------	------------------------------

**【堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会】**

➤ 堺経営者協会

〒590-0074 堺市堺区北花田口町3丁15-1 東洋ビル4階

TEL 072-226-2611 FAX 072-226-2633

➤ 特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム

〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1階

TEL 072-258-7646 FAX 072-258-7641

➤ 堺市

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

産業振興局産業戦略部雇用推進課

TEL 072-228-7404 FAX 072-228-8816